



学校だより

横浜市立六つ川台小学校

平成30年8月27日

8・9月号

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

E-mail:y3mutukd@edu.city.yokohama.jp

刻石流水

校長 滝本 俊一

平成最後の夏休みが終わり、静かだった学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。どの子も夏休み前と比べると、顔つきが少し大人びたように見えます。この休み中の様々な経験が、子どもたちを成長させたのだと思います。そして、みんなが無事に夏休みを過ごすことができたことが、私にとって一番うれしいことです。これも、長い休みの間、保護者の皆様をはじめ、多くの地域の皆様に子どもたちを温かく見守っていただいたおかげだと思います。ありがとうございます。

さて、学校では、今年も水泳教室を実施しました。また、六つ川小、六つ川西小、別所小、そして六つ川台小の4校の子どもたちが本校のプールに集まり、南区小学校水泳記録会を実施しました。記録会では、自分の記録に挑むと共に、他校の選手と競い合うことで、よい交流ができました。

また、本校の校庭で行われた大丸町内会のお祭りでは、今年も本校の5、6年生の有志が運動会で踊ったソーラン節を披露しました。今年は、夏休み前から酷暑が続き、当日も暑さ対策が必要な状況でした。そこで、冷房の効いたコミュニティーの部屋を用意していただき、出演する子どもたちの控室として使わせていただきました。おかげさまで、子どもたちも無事に演技を行うことができました。このソーラン節は9月に行われる横浜パークタウン自治会のお祭りでも披露させていただく予定です。

夏休み中の学校では、この他にも自然委員会の子どもたちがウサギのエサやりなどのお世話をしてくれました。休み中の活動ですので、安全のために保護者の皆様の御協力もいただきました。ありがとうございます。

このように、学校では例年どおりの夏休みを送ることができましたが、世間では様々な出来事が起こっています。その中で、日本中が明るくなった出来事がありました。それは、行方不明になった2歳児が三日ぶりに発見されたというニュースです。そしてその子どもを発見したのが、スーパーボランティアと言われていた方だったということも、世間の注目を浴びました。そのボランティアの方の生き方を知るにつけ、その素晴らしさに感心させられ、自分もそうありたいと思われました。しかし、実際にはそう簡単にまねできるようなものではありません。だからこそ、人々が彼の生き方に感動するのだと思います。そんな彼は「受けた恩は石に刻め、かけた恩は水に流せ」を信条としてボランティア活動を行っているそうです。人は自分が他人にしてあげたことはよく覚えているが、他人からしてもらったことは忘れてしまいがちです。自分がしたことに感謝してもらおうとするのではなく、他人からしてもらったことに感謝する。私は、この言葉の実践からはじめようと思います。

今年は例年以上に暑い日が続きます。休み明けから、6年生の修学旅行や4年生の上郷体験学習、3・4組の南区合同宿泊体験学習などの行事が続きます。子どもたちの体調に十分留意し、熱中症等にも気を付けながら取り組んでいきたいと思っております。今月もよろしくお願いたします。

通学路の安全についてのお願い

保護者や地域のみなさまには日ごろから、子どもたちの安全な登下校のためにご協力いただき、ありがとうございます。夏休みが終わり、子どもたちの登校がはじまりました。今後も安心して通学できるよう、防犯の観点から心配な箇所がありましたら、9月上旬ごろまでに学校（副校長 715-3077）へお知らせいただきますようお願いいたします。